

授業マイスター研修(中学校数学科)

授業マイスター 伊丹市立笹原中学校 教諭 古谷 俊樹

担当指導主事：長谷 慎一

キーワード：活用する力 小中連携 「中1ギャップ」の解消

1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題（またはテーマ）
11月25日(月)	笹原中学校 古谷 俊樹 教諭	笹原中学校 授業研究・事後研究	「活用する力を伸ばす」授業の実践
2月13日(木)	笹原中学校 古谷 俊樹 教諭	総合教育センター 講話および演習	「小中連携講座～算数から数学へ～」

2 主な内容

(1) “活用する力を伸ばす” 授業実践

① 授業のねらい

三角形の相似条件を用いて、人が実際に見える景色の範囲を求めることにより、既習事項から発展させて答えを導き、活用する力をつけさせる。

② 授業内容の流れ

ア 大阪市内にあるテーマパークのジェットコースターの最高地点から、笹原中学校が見えるかどうかということについて予想をさせる。

イ 対象物を簡単な図で示し、実際に見える範囲を求める方法について、個人で考えさせる。

ウ 4人班で意見や考えの交流を行わせる。話し合いをとおして、求めたい答えに近づいているかを中心に確認しながら机間指導を行う。

エ プロジェクターを用いて考えを全体共有させる。相似な図形の性質を利用して見える範囲の求め方を見つけ、実際の地図上でその考えを用いて確認させる。

③ 今回の授業をとおして日常生活にある問題について、数学で解決できることを全体で深めることができた。

(2) 小中連携講座～算数から数学へ～

昨年度は算数・数学指導を通じて「中1ギャップ」の解消に向けた研修を行った。今年度は算数と数学における円滑な小中接続について講座を開いた。今回の研修では、前半は小中の現状やいくつかの手立てを紹介し、後半は情報交換から現状での課題や今後についての意見交換を小中学校の教員で行った。



3 成果と課題

(1) 成果

① 生徒が様々な考え方や発想で問題を解決しようとする場面が見られた。また、課題解決をとおして、身近な事象に数学が関わっていることを実感させることができた。

② 小学校算数科研究会と中学校の教員とが連携することにより、「小学校算数科」と「中学校数学科」の円滑な接続に向けて、小中一体となって取り組んでいく良いきっかけとなった。

(2) 課題

① 意見交流が止まってしまう班や、発言の少ない生徒もいるなど、全員が活発に取り組めていない部分もあった。また、教師主導での説明が多くなってしまった場面があった。

② 小中における新学習指導要領の実施も含めて、引き続きさらなる研究が必要であり、今後も小中学校の連携を深めていかなければならない。